ご協力ありがとうございました

【法人への寄附】（令和２年７月１日～令和３年１月31日）

[1,000,000円]匿名希望様　[100,000円]武山慶市郎様　[50,000円]小野功様

【後援会関係】（令和２年７月１日～令和３年１月31日）

賛助会員会費

[15,000円]紺野英夫様、松本和美様　[12,000円]片平幸代様、木村しづ江様、小松裕子様、星元子様

[10,000円]安達裕樹様、大庭美知子様、佐々木謙様　[9,000円]吉川敏孝様、藤島省太様

[6,000円]安達亮太様、石森久一郎様、千葉直樹様　[5,000円]深田一弥様、匿名希望様

[3,000円]浅野佳子様、阿部美香様、阿部由美様、安藤冷子様、池田幸子様、伊藤恒幸様、遠藤拓哉様、小川美和子様、久我香麻理様、小池英一様、今野ゆみ様、才善俊成様、宍戸充様、宍戸美由紀様、清水京子様、荘司孝雄様、庄子哲子様、庄子優花様、髙田惠子様、髙橋むつ子様、谷村拓也様、永井貞子様、間恵子様、畑山みさ子様、藤崎研二様、堀口茂子様、馬場純子様、三品恵一様、森谷順吉様、横澤行夫様、横田意美子様、吉冨高子様

団体会員会費

[10,000円]株式会社オンワード・マエノ様、東北共栄建設株式会社様

正会員会費

[54,000円]1名　[36,000円]1名　[28,800円]1名　[18,000円]3名　[10,800円]22名　[10,000円]4名　[3,600円]5名

寄附金

[10,000円]合同会社フォーユニット様　[5,000円]匿名希望様

2020年度後援会会費等の状況

令和３年１月31日現在

区　分	人数	金額(円)
正会員	102	1,255,000
賛助会員会費	63	323,000
団体会員	2	20,000
寄附金	2	15,000
合計	169	1,613,000

後援会会員募集

仙台つるがや福祉会後援会では一人でも多くの方にご協力をいただけるよう、会員を募集しています。

賛助会員は、一口年額3,000円からご加入いただけますので、皆様のご協力をお願い致します。

納入方法：現金または郵便局の払込取扱票にてお願いします。

口座記号番号：０２２８０－０－９２１４６

加入者名：仙台つるがや福祉会後援会

問い合わせ先：022-395-7966　（ワークつるがや内）

なご味うどん　絶賛販売中

１パック:250円
(150g×2食入り)
生うどん

粉の計量からパック作りまで、利用者と職員は衛生管理に努め、美味しいうどんになるよう気持ちをこめて作ってます！

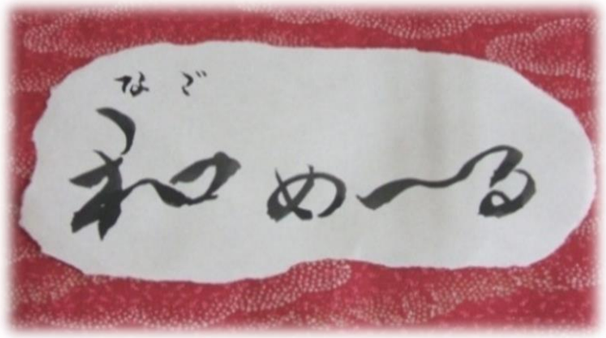
是非とも、ご購入をよろしくお願い致します。

ご注文方法：
☎またはFax、Eメールにて
＊2,000円以上のご注文で仙台市内に限り、配達いたします♪

編集後記

令和３年も、新型コロナウィルス感染症拡大の勢いがとまらないまま月日だけが過ぎていくような感じがしております。昨年から対外的な行事や集会等が中止あるいは延期を余儀なくされてしまい、日常の生活スタイルも変化せざるを得ない状態が続く今日この頃になってしまいました。そんな中でも、ワークつるがやをはじめ事業所の仲間の皆さんが新型コロナに負けずに元気よく日頃の活動を続けておられる姿を見るにつけ、すごく元気づけられます。

早いコロナの終息を願って…　（三品）



発行日：令和３年２月　**第26号**

発　行：社会福祉法人仙台つるがや福祉会
理事長　松本　和美
仙台つるがや福祉会後援会
会　長　佐々木　謙

住　所：仙台市宮城野区鶴ケ谷５－２２－１
ワークつるがや内

電話：022-395-7966　FAX：022-395-7968

URL：http://tsurugaya-fukushi.jp/

E-mail：　w-tsuru@room.ocn.ne.jp

コロナ禍の中で

仙台つるがや福祉会
理事長　松本　和美

昨年から、会員の方々にお会いする度に「大変でしょう」とご心配頂いております。

なご味の休業や利用者工賃の減少（ワークつるがや）、感染予防のための長期欠席（ゆう貝ケ森）、外出活動の自粛（グループホーム）、電話による相談支援（プランつるがや）等々あげれば切りがない程、様々な影響が出ておりますが、各事業所とも、部外者の入館を制限し、マスクと手洗い、換気、消毒を徹底することにより、感染者ゼロで継続的に事業を行っております。

これもひとえに、利用者とご家族の皆様のご協力と、職員一人ひとりの自覚の賜物と感謝しております。ワクチンが話題になるこの頃ですが、気を緩めることなく予防に努め、みんなでコロナウィルスと戦って行きましょう。

就任のご挨拶

仙台つるがや福祉会
事務局長　小野　功

この度、仙台つるがや福祉会の法人のスタッフの一員として、法人業務を担当することになりましたので、後援会会報の紙面をお借りして、就任のご挨拶を申し上げます。

平成18年の法人開設から、永年にわたり法人の活動を支えてこられた後援会の皆様、並びに利用者の支援に献身的に取り組んでこられた松本理事長はじめ法人職員の皆様のご努力に対し、保護者の一人として、心から感謝申し上げます。

令和元年度より『ワークつるがや』の保護者会活動に参加しておりますが、関係者の皆様との縁の糸に導かれ、令和２年11月から法人運営に携わることになりました。

今後は、社会福祉法人に課せられた基本理念に則り、施設の利用者・保護者の方々に想いを寄せ、微力ではありますが、法人運営の課題に取り組み、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

感謝の気持ちを忘れずに

らく壱番館
施設長　村上　道明

グループホームらく壱番館は平成22年６月に開所し、11年目を迎えようとしております。保護者の皆様をはじめ、秋葉前理事長、松本理事長、役職員の皆様、関係された皆々様のご尽力の賜物だと常々実感しております。

仙台つるがや福祉会に入職させていただき２年が経過し、利用者の皆様の「安全と安心」「健康で楽しく充実した日々をおくる」ということを第一に考え、利用者の皆様と一緒に過ごさせていただいてきました。

コロナ禍の中、大変な時期ではありますが、今後も利用者の皆様、職員が一体となりグループホームらく壱番館が安心して過ごせる場として日々生活ができるよう、今後も「感謝」の気持ちを忘れず邁進していきたいと考えております。保護者の皆様には引き続き御指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

「つなぐ」支援を考える

相談支援事業所　プランつるがや
管理者　小松　裕子

ワークつるがや開所以来、当法人にお世話になり、平成26年４月計画相談支援事業開始に併せ、利用者皆さんの地域生活支援の役割を担当しております。

昨年度より相談支援専門員を１名増員し２名体制でフットワーク良く様々なご要望にお応えできるように努めてまいりました。当初は手探りだった相談支援でしたが、利用者皆さんの生活をご家族とともに見守り、楽しく過ごす事のご提案や、これからの生活について考える等、多様な課題に取り組んでおります。

ここ数年では、利用者皆さんがご家族と離れて生活する支援や、ご家族の生活状況の変化にも直面し、関係機関へつないだ事例が多くありました。親子それぞれで相談窓口が異なり、必要な支援者や関係機関、地域等の横のつながりが難しい為、相談員がつなぐ役目があると実感しています。今後も必要な情報をご提案し、安心して日々の生活が送れるように支援してまいりますので、宜しくお願い致します。

ゆう貝ケ森

晴れて
暖かい日には
公園に
散歩に出かけます♪

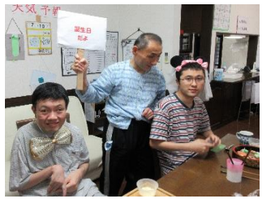
お菓子釣り中！
皆、本気で真剣な表情です

真心こめて♪
プレゼントを届けます♪

みんな♪　つながり♪
出発進行！！

グループホーム

コロナ禍のため、全体行事はせず、各館でイベントを行ないました。それぞれにそれぞれで楽しみました♪



誕生日おめでとう！
みんなでお祝いしました。

楽天♪がんばれ～!!
応援弁当食べて、応援だ！

キャー(≧▽≦)
獅子舞に
かまれた～♪

いらっしゃい♪
300円です。

MaryChristmas♪サンタですよ♪

キャー(≧▽≦)
鬼が去ったら笑
うよ～♪あはは

勤続年数 40 年の方に功労賞として感謝状と記念品をお渡ししました。40 年…すごいです。今後も元気にさらに勤続年数をのばしてください♪

ワーク つるがや

コロナ疲れなので、なご味でお茶会を♪　たまには…ね

ワークまつりは利用者・職員だけで実施♪
ゲームに屋台…と屋内外で楽しみました♪

工房ごとに芋煮会をしてきました。足湯で温まり、芋煮汁でお腹を満たしてきました♪

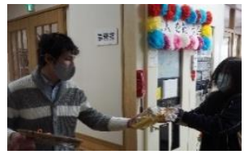
成人おめでとう

鈴木琉惟さん(ワーク)、清野瑠偉キースさん(ワーク)、鈴木公人さん(ワーク)、大西琴さん(貝ケ森)、駒井美優さん(貝ケ森)、鈴木楓佳さん(貝ケ森)、髙橋穂乃果さん(貝ケ森)の７名が成人になり、それぞれの事業所でお祝い会を行ないました。
記念品のプレゼント、先輩利用者からのお祝いメッセージ…とコロナ感染防止対策をとりながらではありましたが、それぞれ心に残るステキなお祝い会になりました。

５歳のときに自閉症との診断を受けて、そこから本人も家族も気持ちが上がったり下がったり、ジェットコースターのような日々を過ごしてきました。まわりとの違いにふり回される中、受け入れる事・与える事の大切さに気づかされ、また、仲間がいる事で良い変化もあり、周りの方々に助けられ成長してきました。過ぎてみればあっという間の 20 年。これからの 20 年も笑いを忘れず、２度目の成人お祝いをしたいです！😊
（清野瑠偉キースの母）

公人が生まれ早 20 年が経ちます。公人が生まれる際はとても危険な状態でしたが、今では大きな病気もなくすくすく育ってくれました。最近では、料理をしていれば手伝ってくれたり、お皿の片付けをしたりと成長している姿を実感しております。様々な方からの指導の賜物だと嬉しく思います。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。
（鈴木公人の母）

先日は、たくさんの心づくしの成人のお祝いをどうもありがとうございました。成人を迎えた自覚のない本人ですが、ワークの生活にも少しずつ慣れてきたようでワークに行くのを楽しみにしている様子が見られます。20 年間振り返っても大変だった事しか思い出せないのですが、元気でおだやかに毎日過ごせるように、親の私も精一杯努力していきます。ワークのスタッフの皆さんに日々支えて頂き感謝でいっぱいです。ありがとうございます。
（鈴木琉惟の母）



今年はコロナ感染防止のため、ユアテックスタジアム仙台の会場で成人式の案内状が届きましたが、重症心身障害者の娘には体調を考えると、成人式参加にがんばらなくても二十歳だよ！今を生きていれる!!の思いだけで胸がいっぱいの年です。青森県七戸養護学校を卒業し障害があってもできるだけ居宅で暮らせるように「あおぞら診療所ほっこり仙台田中医師」に自由になれる体調を管理していただき次のステップ、娘の卒業同時に開所された「ゆう貝ケ森」さんへ毎日通い、感染症対策を考慮しながら心温まる「成人を祝う会」を開催していただき、施設長から「10 代と 20 代は何か違うよね」と気さくな挨拶の言葉に共感し生まれてきてくれた、成長してくれたこと、笑ってくれたこと…全て「命」にありがとうです。今朝もゆう貝ケ森さんへスイッチの入らない表情で送り出しましたが、迎え時は車椅子を押してもらっているスタッフさんに声を描けてもらい「ガハハハッ」と声を出して意思疎通している姿に自立なのかなぁと感じます。こんな日々がいつまでも続きますようにたくましく生きて行こうね。
（大西琴の母）

先日は成人を祝う会を開いて下さり誠にありがとうございました。ゆう貝ケ森に入所してからはや 2 年。人見知りだったので、最初は馴染めるかとても不安でしたが、スタッフの方々が優しく接して下さったおかげであっという間に慣れ、楽しかったと笑顔で帰ってくるようになり、ここに入れて本当に良かったと感謝しております。7 歳で難病を患い、現実を受け入れるまで、美優も私達もとても時間がかかり、今に至るまで特に本人は相当我慢をして悲しい思い、辛い思いをしてきたと思います。でも、美優の真の強さと周りの方々に大変恵まれ支えられて、病気と向き合う事ができ、20 歳という節目を笑顔で迎えられたんだと思います。これからも病気と寄り添いながら、色んな人と触れ、楽しく笑顔が絶えない日々を過ごしてもらえればと願っております。　（駒井美優の母）

楓佳へ
成人おめでとう、もう二十歳ですね。幼い日の姿をついこの前のことのように思い出します。笑顔がかわいくて、頑張り屋さん、優しくて、ちょっとこわがり…そんなあなたは、いつもまわりの人達を笑顔にしてくれました。楓佳がこれからも笑って過ごせるよう願っています。
（鈴木楓佳の母）

穂乃果へ
成人おめでとう。もう 20 歳ですね…20 年を振り返ると、色々な想いがこみあげてきます。障害について何もわからない状態から、ここまで育ててこられたのも、たくさんの方々の支えがあったからこそです。いつも感謝の気持ちを忘れず、これからも穂乃果らしく、マイペースで笑顔を忘れず、楽しい時間を過ごしていってほしいです。こらからも親子共々、よろしくお願いします。
（髙橋穂乃果の母）